

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の2000年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫(3,900,000円)、県費(1,950,000円)の補助金の交付を受け、平成12年4月3日から平成13年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者 大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課 生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長 遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長 池本敏雄	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長 金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成 土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子、福島雅子、山口妙子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、丹治つや子、福島雅子、山口妙子 石器実測：青山奈保美
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜江、須藤さち子、表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子
 遺構写真：高崎直成・土本医・坪田幹男・鍋島直久 遺物写真：高崎直成
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、上田寛、内田賢司、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、
 柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 (有)文化財COM
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、本村遺跡第86地点および東台遺跡第33地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、金丸文男、
 小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、
 中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、三村美代子、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代
 (富士見市教育委員会) 飯田久子、泉邦子、上田寛、黒田千恵子、佐々木真理子、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、
 戸田美根子、中路子、名久井よし江、羽田美代子、深野サイ子、吉田信江、若槻たか、渡辺日出男
 〈整理作業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
 土器実測図 1 : 3、1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム)  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2000年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点名	申請地	調査 面積(m ²)	開発 面積(m ²)	原因	試掘期間	調査措置
						本調査期間	
1	鶴ヶ岡遺跡第2地点	鶴ヶ岡3-16-1・14	320	1,327	共同住宅	12. 4. 6～12. 5.16	試掘
2	亀居遺跡第53地点	鶴ヶ岡2-28-1	628	1,422	飲食店	12.10.30～13. 1.18	試掘
3	江川南遺跡第13地点	東久保3街区21画地	55	123	個人住宅	12. 6. 7 12. 6. 8～12. 6.21	教育委員会で 本調査
4	江川南遺跡第14地点	東久保1街区1画地	237	461	店舗	12. 7. 5～12. 7.10 12. 7.10～12. 7.18	教育委員会で 本調査
5	江川南遺跡第15地点	東久保2街区1画地	1,050	2,375	共同住宅	12.12. 8～12.12.26 13. 1.10～13. 1.19	試掘後遺跡調 査会で本調査
6	亀久保堀跡遺跡第25地点	東久保8街区9画地	79	187	個人住宅	— 12. 4.10～12. 4.12	教育委員会で 本調査
7	亀久保堀跡遺跡第26地点	東久保6街区13画地	36	105	個人住宅	12. 5.11～12. 5.18	試掘
8	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2・3画地	180	1,011	駐車場	12. 5.29～12. 6. 1	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第28地点	東久保29街区3-6・9画地	1,029	1,365	整地工事	12. 6.29～12. 7. 4	試掘
10	東久保遺跡第25地点	東久保18街区13画地	50	135	個人住宅	12. 4.13～12. 4.14	試掘
11	東久保遺跡第26地点	東久保31街区9画地	833	1,107	砂利敷駐車場	12. 4.14	試掘
12	東久保遺跡第27地点	東久保14街区8画地	30	130	個人住宅	12. 6.29～12. 7. 4	試掘
13	東久保遺跡第28地点	東久保4街区18・20画地	16	218	個人住宅	12. 6.30～12. 7. 4	試掘
14	東久保遺跡第31地点	東久保15街区26画地	87	126	個人住宅	12. 6. 7	試掘
15	東久保遺跡第33地点	東久保15街区24画地	22	128	個人住宅	12. 8. 2～12. 8. 3	試掘
16	東久保遺跡第34地点	東久保18街区15画地	38	110	個人住宅	12. 8.29～12. 8.30	試掘
17	東久保遺跡第35地点	東久保23街区3・4画地	46	139	個人住宅	12.12. 7～12.12. 9	試掘
18	東久保遺跡第36地点	東久保15街区21・22画地	40	135	個人住宅	13. 1.19～13. 1.25	試掘
19	東久保遺跡第37地点	東久保15街区13・33画地	40	149	個人住宅	12.12.11	試掘
20	東久保遺跡第39地点	東久保4街区8・9画地	117	317	個人住宅	13. 3.22～13. 3.27	試掘
21	東久保西遺跡第10地点	東久保11街区3・11画地	136	1,760	店舗	12. 5. 8～12. 5.10	試掘
22	東久保南遺跡第21地点	東久保64-1街区	288	1,283	共同住宅	13. 1.15～13. 1.31	試掘
23	東久保南遺跡第22地点	東久保60街区1画地	1,112	2,703	中古車 展示場	13. 2. 4～13. 2.15 13. 2.14～13. 2.26	試掘後遺跡調 査会で本調査
24	東久保南遺跡第23地点	東久保48街区6画地	97	208	個人住宅	13. 3. 7～13. 3. 8	試掘
25	西ノ原遺跡第118地点	大井・苗間59街区45画地	214	548	店舗兼共同住宅	12. 4. 3～12. 4.12	試掘
26	西ノ原遺跡第119地点	大井・苗間18街区4画地	221	221	倉庫建設	— 12.11.15～12.12. 6	試掘後遺跡調 査会で本調査
27	中沢前遺跡第22地点	大井・苗間59街区45画地	20	212	個人住宅	12. 5.25～12. 5.26	試掘
28	神明後遺跡第13地点	苗間302-1	154	694	個人住宅	12. 4.17～12. 4.19	試掘
29	神明後遺跡第14地点	苗間252-2	196	357	共同住宅	12. 8.18～12. 8.23	試掘
30	大井宿遺跡第3地点	大井80街区8画地	150	605	高齢者介護施設	12. 7. 7～12. 7.13	試掘
31	大井宿遺跡第4地点	東久保12街区8画地	20	122	個人住宅	12. 8.28～12. 8.30	試掘
32	大井宿遺跡第5地点	大井・苗間79街区7画地	288	781	駐車場	12.10.24～12.10.25	試掘
33	大井宿遺跡第6地点	大井1052-1～2・1071	324	2,300	長屋住宅	12.11.28～12.12.15	試掘
34	大井氏館跡遺跡第13地点	大井1-8-1	30	76	事務所	12.11.21～12.11.24	試掘
35	本村遺跡第86地点	大井・苗間86街区1～5	1,528	5,745	公衆浴場	12. 4.19～12. 6.10 12. 5.15～12. 6.29	試掘後遺跡調 査会で本調査
36	本村遺跡第87地点	大井・苗間130街区2画地	72	165	個人住宅	12. 5.31～12. 6. 3	試掘
37	本村遺跡第88地点	大井・苗間89街区6画地	43	154	個人住宅	12. 6.27～12. 7. 3	試掘
38	本村遺跡第89地点	大井・苗間113街区1・2画地	326	942	分譲住宅	12. 7.19～12. 8. 1	試掘

V 亀久保堀跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は福岡江川とさかい川の間、標高19～21mの低位台地に位置する。現在は区画整理事業により遺跡周辺の起伏は無くなりつつあるが、以前は僅かに埋没谷や窪地がみられた。周辺は区画整理事業と大規模開発により急激に変貌している。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、北西側に江川南遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

本遺跡は1991年江川南遺跡第2地点で堀状の遺構が初めて確認された事に由来する。その後、江川南遺跡縁辺部の調査でも堀跡の続きが確認されたため、遺跡の変更増補を行い、1998年に亀久保堀跡遺跡として新たに遺跡の範囲と遺跡名を設けた。

これまでの調査から堀は、福岡江川付近から南下し、地藏院の東約80m付近で南東に向きを変え、約600m以上直線で延びる。堀の規模は上幅約3m、底幅約1.5m、深さは地表面から約1m、長さは600m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが、出土遺物は無く、時代などは不明である。本遺跡に隣接する地藏院は、南北朝期の二階堂氏との関係から氏の館跡との想定もされており、堀跡との関係などが今後の課題であろう。

亀久保堀跡遺跡の範囲からは、縄文時代の落とし穴や近世の溝跡などが新たに確認されている。

本遺跡では2001年12月現在、28ヶ所で調査が行われている。



第25図 亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第26図 亀久保堀跡遺跡の調査区と遺構分布図 (1/3,000)

2 亀久保堀跡遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者から2000年3月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は周辺部の調査から遺構の存在が確実なため申請者と協議の結果、本調査を実施した。

調査区は堀跡の延長部分にあたり、堀状部分の9×6mの範囲と、堀に直交する場所に2m幅のトレンチを3本設定し、4月10日から重機による表土除去後、人力で遺構プランを確認後、遺構を掘り下げた。調査の結果検出した遺構は堀跡1条、土坑1基である。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、重機で埋め戻し、4月12日に調査を終了した。

(2) 遺構

【堀跡】堀跡の断面は逆台形を呈すが、立ち上がりは垂直に近い。底はほぼ平坦、検出部の規模は長さ9.4m、上幅2.56～2.96m、下幅1.49～1.71m、深さは確認面から1.17mを測る。堀跡の北側には50～60cmの帯状の焼土層が広がる。この焼土層は他の調査地点の堀跡でも確認されている。出土遺物は無い。

【土坑】平面形は不整形、断面深皿状である。上端278×144cm、下端218×66cm、深さ50cmを測る。出土遺物は無い。

3 亀久保堀跡遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2000年4月24日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲に位置するため申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

調査は2000年5月11日から幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去の後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、柵列跡を検出した。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、重機でトレンチを埋め戻し、5月16日調査を終了した。

(2) 遺構

【溝・柵列】柵列を伴う溝を東西方向に6.6m検出した。溝の上幅1.42～1.69m、下幅1.14～1.30m、深さ10～22cm、柵列ピットの径は22～52cm、深さ33～73cm。

第10表 亀久保堀跡遺跡第26地点柵列ピット・土坑一覧表

単位cm
()は推定

No	平面形態	確認面径	底 径	深 さ	備 考
1	隅丸方形	26×22	12×12	53	
2	方形	36×34	26×12	73	
3	方形	22×18	12×6	36	
4	楕円	63×42	14×12	69	
5	楕円形	48×26	8×8	33	
6	楕円形	50×40	12×14	62	
7	隅丸長方形	26×(34)	24×(14)	46	
8	楕円形	52×30	12×18	62	
9	隅丸三角形	24×24	12×10	26	
10	不整形	40×62	6×6	59	

4 亀久保堀跡遺跡第27地点

(1) 調査の概要

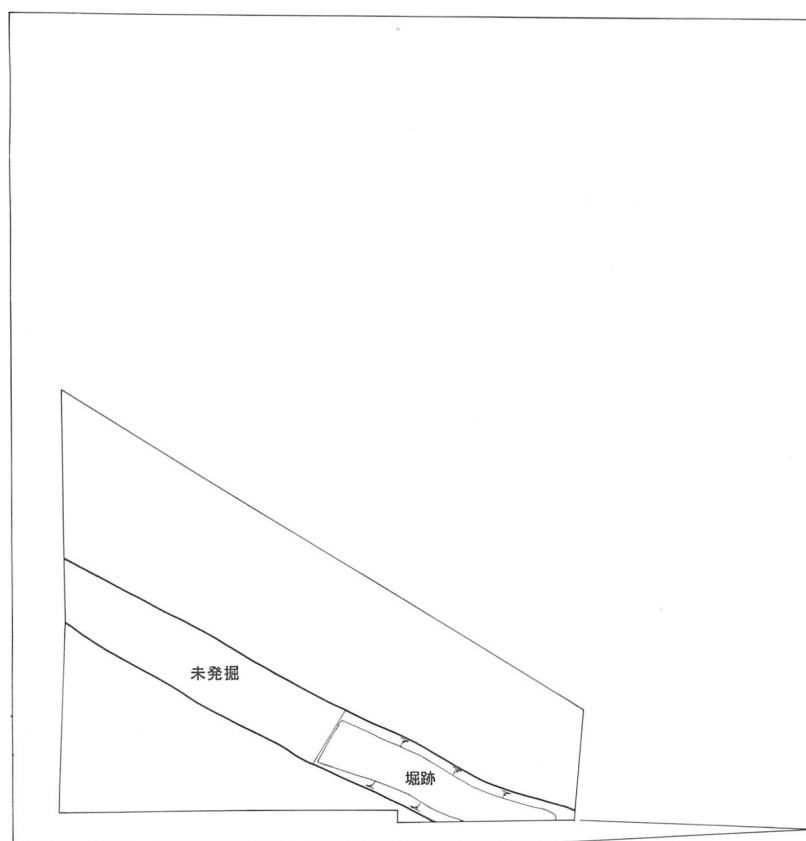
調査は駐車場の敷設に伴うもので、原因者より2000年5月25日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は周辺部の調査から遺構の存在が確実なため申請者と協議の結果、遺構の深さを確認するための試掘調査を実施した。

申請地の南西部分が堀跡の延長部分にあたるため、20×16mの範囲を調査範囲として設定した。重機により5月29日から表土除去し、人力で遺構プランを確認したうえ、遺構の深さを確認するため一部遺構を掘り下げた。その結果、確認面の深さが60cm以上あり工事の影響が地下まで及ぼさないと判断し、申請者と再協議の結果、盛土保存の措置を取った。検出した遺構は堀跡だけである。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、6月1日調査を終了した。

(2) 遺構

【堀跡】断面は逆台形を呈し、底はほぼ平坦に掘られているが、堀跡の北側には凹凸がある。長さ22mにわたり堀を検出し、そのうち9.5mを掘り上げ調査した。検出部の規模は上幅2.34～2.46m、下幅1.46～1.80m、深さは確認面から0.76mを測る。堀跡の北側上層には22cm幅の帯状の焼土層が広がる。

出土遺物は無い。



堀跡

I. 黒褐色土. 締り無. ロームブロック(10 cm以下)

極多量. 盛土

1. 黒褐色土. 締り有. ローム粒(1~2 mm)多量

2. 赤褐色土. 締り有. 焼土層. 焼土粒(1 mm以下)主体に黒褐色土混入

3. 暗褐色土. 締り有. ローム粒(1~3 mm)極多量

4. 暗褐色土. 締り有. ローム粒(1~3 mm)多量. 3層より若干暗い

5. 暗褐色土. 締り有. ローム粒(1~3 mm)少量

6. 暗褐色土. 締り有. ローム粒(1~3 mm)極多量. 4・5層より明るい

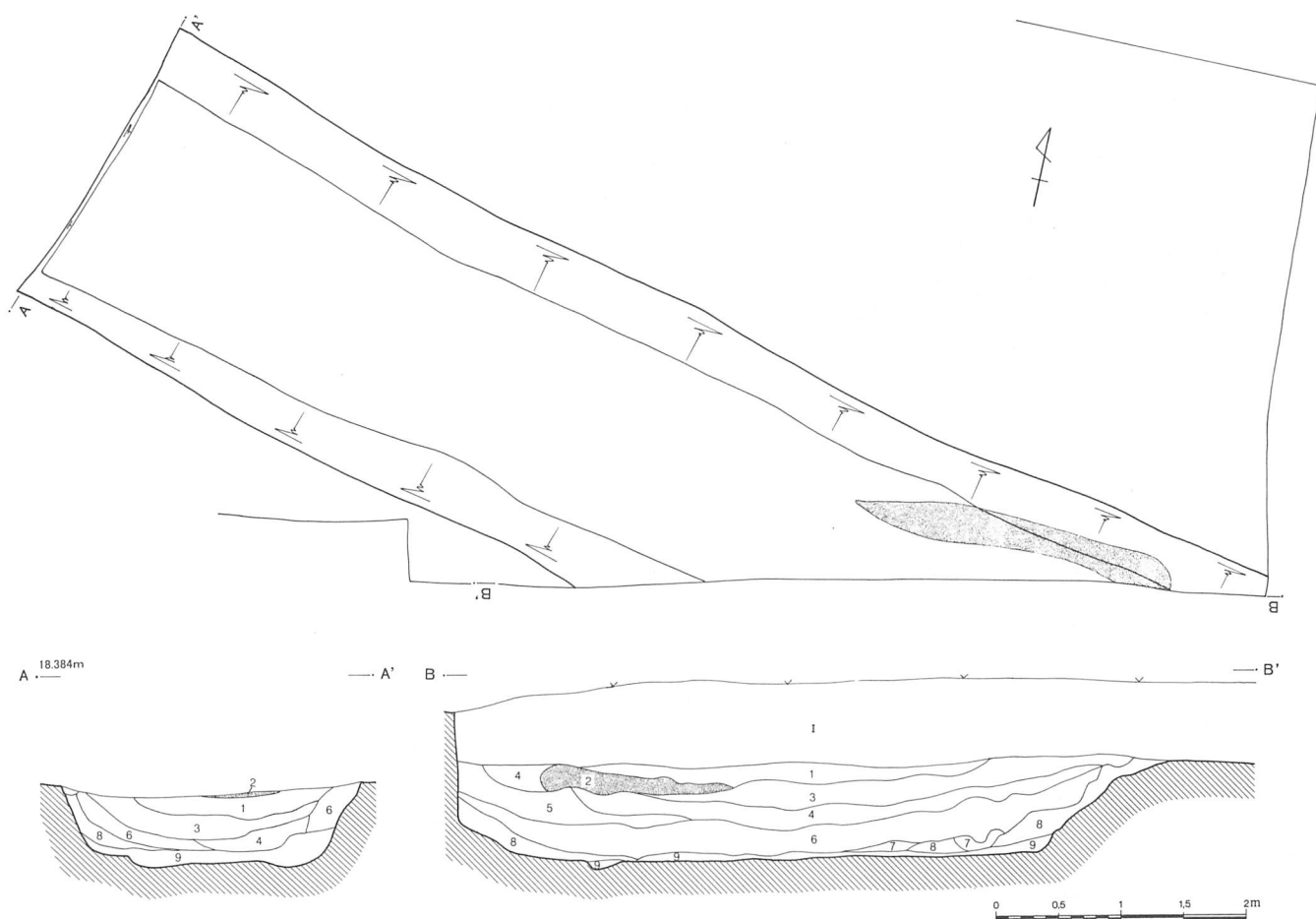
7. 褐色土. 締り有. 粘性やや有. ローム粒(1~5 mm)主体

8. 褐色土. 締り有. ローム粒(1~5 mm). ロームブロック(1 cm)主体

9. ロームブロックと暗褐色土と8層の混合土. 締り無く脆い

0 5 10m

堀跡



第29図 亀久保堀跡遺跡第27地点遺構配置図(1/300)・堀跡(1/60)



亀久保堀跡遺跡第25地点堀跡



亀久保堀跡遺跡第25地点土坑 1



亀久保堀跡遺跡第26地点調査区全景



亀久保堀跡遺跡第26地点溝・柵列



亀久保堀跡遺跡第27地点調査区全景



亀久保堀跡遺跡第27地点堀跡



亀久保堀跡遺跡第28地点調査区全景・堀跡（西から）



亀久保堀跡遺跡第28地点調査区全景・堀跡（東から）

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

IX 亀久保堀跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は、福岡江川とさかい川の間の低位台地に位置している。遺跡の標高は18.0～21.0mで、堀跡は自然の地形を考慮せずに直線的にのびる。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

これまでの調査から、堀跡は福岡江川付近から南下し江川南遺跡の中央部を南北にのびた後、地藏院の東約80m付近で南東に向きを変える。向きを変えた堀跡は、東久保遺跡と東久保西遺跡の間を約600m以上直線で延び富士見市域へと続く。富士見市域では調査が行われていないため遺跡の有無は不明である。

堀跡の規模は上幅約3m、底幅約1.5m、深さは地表面から約1m、長さは800m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが出土遺物は無く、時代などは不明であるが、本遺跡の第30地点と江川南遺跡第17・19地点の調査で検出した堀跡の覆土層に含まれるテフラ分析を行なった結果、堀跡の時期が平安時代の11世紀以前に遡るとする検査結果が出ている。

また、隣接する上福岡市駒林地区で類似する堀跡が数箇所発掘調査され、本遺跡との関連が注目される。

2 亀久保堀跡遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2002年5月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は2000年5月に駐車場建設の際試掘調査を行なっているが、今回の店舗建設予定地は未調査のため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年6月10日から翌11日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、土坑2基を検出した。遺構の性格を確認するため検出部分のみ調査した。確認面までは60cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図等記録保存を行ない調査を終了した。

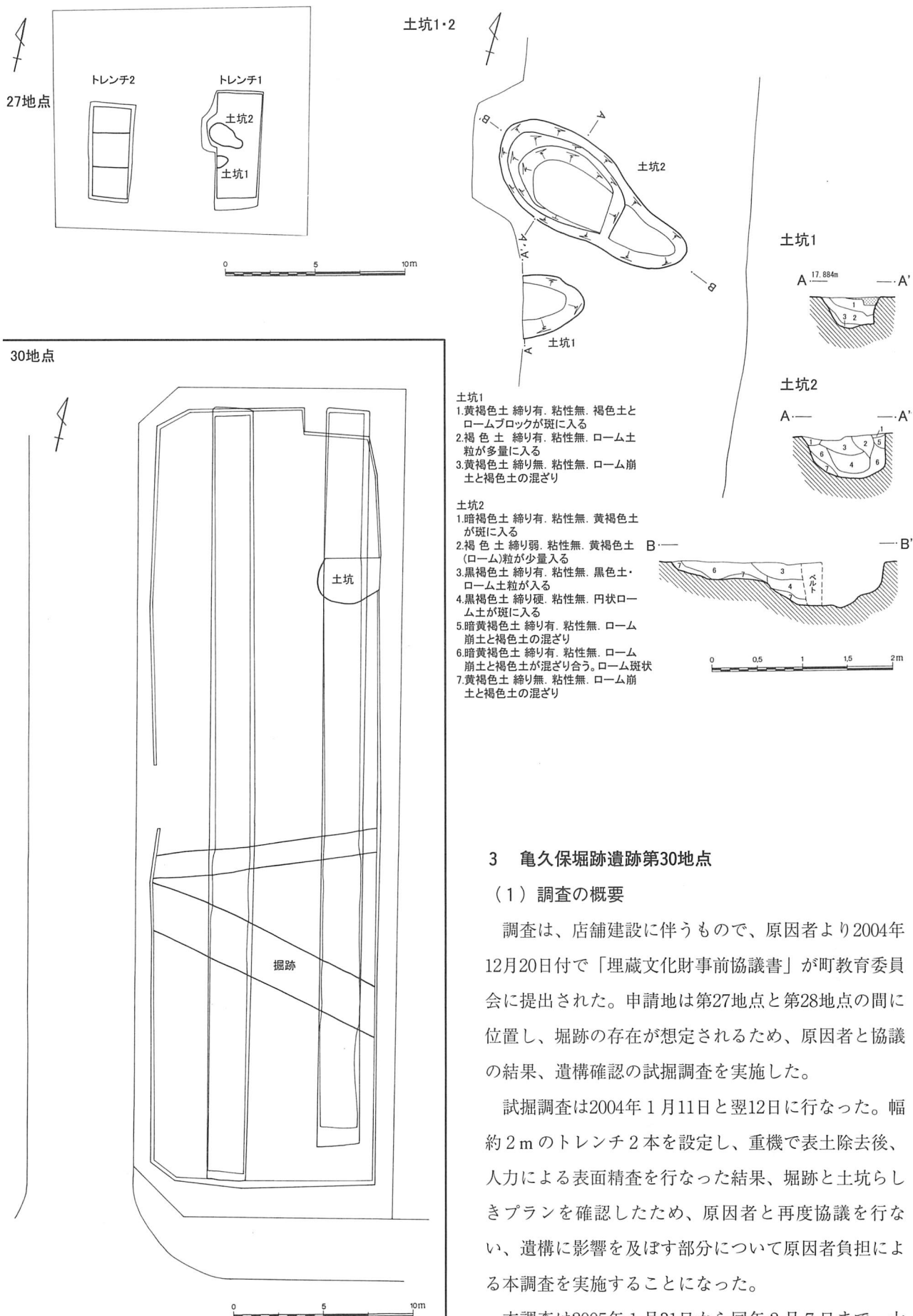
(2) 遺構

【土坑1】トレンチ内のみの調査のため平面形は不明、断面「U」字形である。上幅端68cm、下幅34cm、深さ34cmを測る。出土遺物は無い。

【土坑2】平面形は楕円形、断面「U」字形である。東側が一段浅い。上端240×144cm、下端92×55cm、深さ54cmを測る。出土遺物は無い。



第30図 亀久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第31図 亀久保堀跡遺跡第27・30地点遺構配置図
(1/300)、土坑 (1/60)

3 亀久保堀跡遺跡第30地点

(1) 調査の概要

調査は、店舗建設に伴うもので、原因者より2004年12月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は第27地点と第28地点の間に位置し、堀跡の存在が想定されるため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年1月11日と翌12日に行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、堀跡と土坑らしきプランを確認したため、原因者と再度協議を行ない、遺構に影響を及ぼす部分について原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2005年1月31日から同年2月7日まで、大井町遺跡調査会が行ない、堀跡の続きと土坑1基を検出した。(「東久保の遺跡」大井町遺跡調査会2005既刊行)



東久保遺跡第57地点試掘調査



東久保遺跡第58地点試掘調査



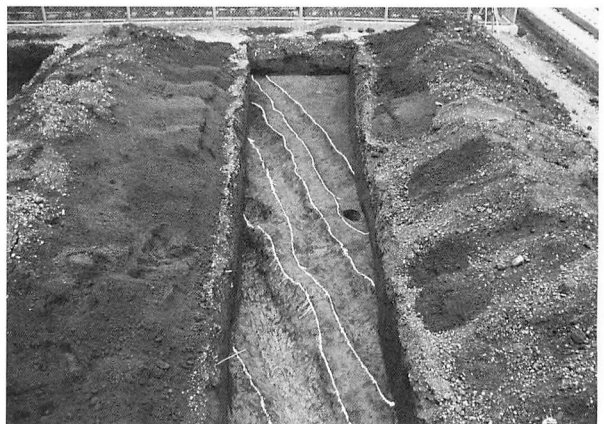
東久保遺跡第59地点本調査



東久保遺跡第60地点試掘調査



東久保遺跡第60地点ピット



東久保遺跡第62地点試掘調査溝



亀久保堀跡遺跡第27地点試掘調査



亀久保堀跡遺跡第27地点試掘調査土坑